

# T U E S × S D G s

公立鳥取環境大学は SDGs の達成に向けて取り組んでいます



## （1）教育・研究

### ●教育の実施・学生の SDGs への理解の向上

- ・シラバスに SDGs 17 の目標との関連表を掲載し、授業内容の充実に努めた
- ・環境学概論の講義で eco 検定公式テキストを活用し、SDGs 基礎を学習した
- ・2020 年度に人間形成科目「SDGs 基礎」を新設することを決定し、開講準備を進めた

### ●SDGs 関係の研究活動の支援

- ・2019 年度学内特別研究費に採択された研究課題と SDGs との関連性を整理（22 件）
- ・教員による SDGs 関連書籍の出版への助成  
12 名の教員が共同執筆し、SDGs 啓発専門書を出版した

### ●SDGs 地域塾の実施（環境学部）

- ・SDGs に関わる地域課題について、学生と地域住民等が対面して課題を共有し、考え、互いに気づきを得るための意見交換の場。SDGs 達成に向けた取組み推進と地域課題の解決に貢献することを目的とし、以下のとおり実施した。

- ① 気象観測システムを用いた島根県美郷町の地域活性化について（2019 年 4 月）
- ② 鳥取市佐治地域の活性化について（2019 年 7 月）
- ③ 女性の働き方について（2019 年 7 月）
- ④ 鳥取市の環境を考える学生ワークショップ（2019 年 10 月）
- ⑤ 鳥取市の農業施策について（2019 年 10 月）



### ●SDGs カフェの実施（経営学部）

- ・気軽に語り合えるカフェ形式で、設定したテーマについて参加者が自由に意見交換する場。学生主体で企画・運営し、以下のとおり 2 回実施した。

- ① フェアトレードを知り、消費者行動を見直してみよう！  
開催日：2019 年 9 月 24 日  
参加者：30 名  
概要：映像鑑賞やクイズ、カードゲーム、意見交換（2019 年 9 月）
- ② シカさんの獣害問題をマーケティングで解決！  
開催日：2020 年 1 月 30 日  
参加者：40 名  
概要：駆除した鹿肉の有効活用の取り組みのプレゼンテーション、商品化に向けて開発中の鹿肉ハンバーグの試食、意見交換



## (2) 地域への知的貢献・地域連携

### ●特別シンポジウムの開催

- ・SDGs 普及啓発を目的として本学で特別シンポジウムを開催した

日 時：令和元年 11 月 29 日（金）午後 3 時～午後 5 時 45 分

会 場：公立鳥取環境大学（100 講義室）

対 象：企業・団体・行政等、本学学生・教職員

参加者：130名

テーマ：創発型責任経営でSDGsに挑戦する

内 容：基調講演、事例紹介、パネルディスカッション

講 師（氏名・所属・役職）：

國部 克彦 氏：神戸大学 副学長/経営学研究科教授

野口 成光 氏：リコージャパン 鳥取支社支社長

松浦 生 氏：大山町地域おこし研究員（本学卒業生）

福島 雅之 氏：学生団体「地球環境を考える会」（在学生 環境学部 3 年）



### ●夏休みエネルギー教室の開催

- ・将来を担う次世代層（小学生）を対象として、環境問題への取り組みや現状を学び、知的好奇心をより高めることを目的とするエネルギー教室を開催した。鳥取県内のエネルギー関連施設（太陽光・風力・ウェストバイオマス）、廃棄物処理施設をバスでめぐり、見学しながらレクチャーを受けた。環境学部学生も運営に参画し、エネルギーに関するクイズなども行った。

日 時：令和元年 8 月 3 日（金）午前 9 時 30 分～午後 4 時 15 分

対 象：小学生 4 年生～6 年生

参加者：24名

内 容：バス見学ツアー（とっとり自然環境館、三光株式会社 潮見工場、イオスエンジニアリング&サービス株式会社）



### ●外部団体での啓発活動

- ・鳥取県経済同友会からの依頼に基づき、同会 SDGs 特別検討委員会 オープン例会で経営学部 中尾悠利子 准教授が講演を行い、約 50 人が聴講した。

日時等：令和元年 12 月 20 日（金）午後 3 時 30 分～午後 5 時  
米子ワシントンホテル

主 催：鳥取県経済同友会西部地区（SDGs 特別検討委員会）

対 象：経済同友会会員、行政関係者など

テーマ：「SDGs と企業経営～2030年に選ばれる企業とは～」

講 師：中尾悠利子准教授（経営学部）

出席者：江崎信芳学長、横山伸也サステナビリティ研究所長ほか事務局 2 名



## ●学生の地域連携活動支援

- ・地域連携活動推進助成金の活用  
学生による地域活動やボランティア活動を助成する制度  
令和元年度は8件助成
- ・学生団体「地球環境を考える会」の自発的なSDGs普及活動  
2030 SDGs Card Game in TOTTORI (5/25)、山陰未来フェスへの  
出展等、県内で普及啓発を実施
- ・2020年環境マネジメント全国大会の誘致活動（学生EMS委員会）への支援



## ●行政、経済団体、企業、NPO等との連携

- ・「とっとりSDGs推進会議」への参画、外部団体との連携構築  
（公財）とっとり県民活動活性化センターからSDGsに取り組む近隣団体等へ呼びかけがあり、賛同する約30団体により「とっとりSDGs推進会議」が発足した。情報交換の体制が整い、これを切っ掛けに、複数の団体等との接点ができ、来年度以降の共同事業の実施に向けた意見交換が進んでいる。

参加団体：鳥取県、鳥取大学、鳥取銀行、鳥取県ユニセフ協会、鳥取県生活協同組合、鳥取青年会議所、青翔開智中学高等学校、地球温暖化防止センター、NPO法人ハーモニーカレッジ、Tottori Mama's、NPO法人山陰福祉の会、とっとり県民活動活性化センター、生命保険協会 など

## (3) 大学運営・情報発信

### ●学外に向けたSDGsの広報・情報提供

- ・外部への発信・普及啓発を目的に、本学公式ホームページ上でSDGs特設ページを開設。関連する活動のレポートや教育・研究活動とゴールとの関わり等を掲載している。  
公式サイトトップページにバナーを設け、大学PRにも活用。
- ・図書館にSDGsコーナーを設置し、学生への情報提供を充実



### ●環境マネジメントシステム（TEAS）との関連付け

- ・各実行組織の環境目標にSDGsに関する目標を設定し、日常業務への定着化

### ●多様な学生の支援

- ・「授業料減免等による経済的支援」や「日本人学生による留学生の生活支援体制の構築」、  
「学生の健康相談、メンタルヘルス相談等健康支援」「ハラスメント相談窓口の設置」など